

令和3年度当初予算のポイント

川口市

令和3年度当初予算のポイント

歳入確保・健全財政と必要な事業量の確保の両立を目指した予算

☆今後の発展を見据えた積極的取り組みと、新型コロナウイルス感染症対策による、過去最大規模の予算

【令和2年度当初予算】

4,046.5億円



【令和3年度当初予算】

4,106.1億円(+59.6億円)

一般会計 2,079.3億円

2,096.4億円(+17.1億円)

特別会計 1,365.6億円



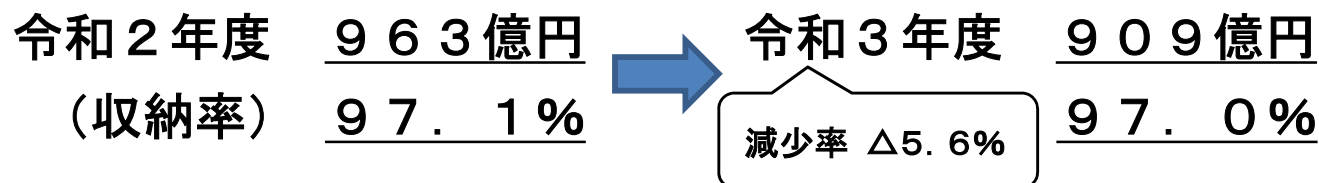
1,413.3億円(+47.7億円)

企業会計 601.6億円

596.4億円(-5.2億円)

健全な財政運営の取り組み

☆新型コロナウイルス感染症の影響により減少する市税収入



当初予算の推移

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
879億円	903億円	914億円	917億円	943億円	953億円
(収納率) 89.4%	91.2%	92.3%	93.8%	95.3%	96.5%

☆収納率向上のための事業を実施

- ・催告センターの拡充
- ・インターネット口座照会の実施
- ・多言語対応のためのQRコードを活用
- ・スマホ決済の実施 など

☆将来の実負担額の軽減

- ・市債については、主に交付税措置のある有利なものを活用
- ・土地開発公社借入残高の削減 令和2年度末 約59億円 (令和元年度末約68億円)

主要事業の概要 3大プロジェクト

3大プロジェクトの推進

R3年度予算額 63億2千万円 (R2予算額 61億円)

1 新庁舎建設事業

(新庁舎建設課)

R3予算額 15億1千万円

(R2予算額 4億円)

2期棟及び立体駐車場の実施設計、仮設平面駐車場整備、駐車場棟の解体工事を実施

2 赤山歴史自然公園整備事業

(赤山歴史自然公園整備室)

R3予算額 28億9千万円

(R2予算額 8億円)

令和4年度の全体オープンを目指し、ハイウェイオアシスを含めた公園整備を実施

3 市立高等学校建設事業

(庶務課)

R3予算額 19億2千万円

(R2予算額 49億円)

第1・2校地グラウンド整備工事、第2校地体育館耐震補強工事を実施

※上記3の事業費には開設準備経費を含みます。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症対策事業費 総額 54億4千8百万円

1 新型コロナウイルスワクチン接種事業(拡充)

(新型コロナウイルスワクチン接種推進室) R3予算額 37億5百万円

全市民(接種の完了した医療従事者等を除く)を対象にワクチン接種を行う

- ・コールセンターの運営
- ・集団接種会場の運営
- ・予防接種の実施

2 感染症予防対策事業(拡充) (疾病対策課) R3予算額 4億8千2百万円

感染症の予防と感染拡大防止に係る公費負担等を行う

- ・入院医療費本人負担分を給付
- ・PCR検査費用本人負担分を給付
- ・PCR検査センターの運営
- ・感染症に関する相談への電話対応
- ・陽性者の医療機関や宿泊療養施設への移送
- ・検体搬送、自宅療養者への食事配送 など

新型コロナウイルス感染症への対応

3 新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関支援事業(継続)

(保健総務課) R3予算額 4億2千1百万円

医療提供体制の強化を行う市内医療機関に対し支援を行う

- ・ 入院患者受入への補助
- ・ 帰国者・接触者外来等への補助
- ・ 休業補償への補助

4 その他の対策事業費

R3予算額 8億4千万円

- ・ 経済産業活性化
感染症対策の商店改修への補助、空き店舗の改修への補助 など
- ・ 感染防止のための衛生用品の購入
保育所、学校、障害者施設等の衛生用品の購入や、災害対応の保存食の個食化 など
- ・ 学習支援
小中学校の臨時休業時におけるオンライン授業の環境整備 など
- ・ 生活支援
住居確保給付金の支給 など
- ・ その他
感染者の発生した障害福祉事業所に対し、衛生用品の購入や施設の消毒にかかる補助などのサービス継続支援

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

1 行政サービスへの導入(新規・拡充) (市民課・情報政策課)

R3予算額 1億5千4百万円

行政サービスにおけるスマート申請を実現させ、市民の利便性向上を図るとともに業務の効率化を図る

【市民の利便性向上】

・コンビニ交付の導入のためのシステム開発

全国のコンビニエンスストア等で各種証明書を交付(令和4年5月運用開始予定)
(交付可能な証明書) ※税証明は令和4年10月運用開始予定

- ・戸籍謄抄本
- ・戸籍の附票
- ・住民票の写し
- ・住民票記載事項証明書
- ・印鑑登録証明書
- ・課税・非課税証明書

・スマート申請の導入に向けた環境整備

押印が必要な約2,800の申請のうち、約86%で押印廃止を予定しており、
来庁不要な申請・手続きの実現に向け環境整備を行う

【業務効率の向上】

・RPA・AI-OCRの拡充

申請書などを読み込み、文字のデータ化を行うとともに、ソフトウェア型の
ロボットにより定型業務の自動化を行う

・ノーコードシステムの導入

簡単なシステムをプログラミングの知識無しで作成できるもの など

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

2 市内企業に対する支援(新規) (経営支援課)

R3予算額 4千6百万円

デジタル技術を活用し、市内産業の新たな売上向上に向けた取り組みを推進することにより、経営の安定化並びに雇用の維持を図る

- ・デジタル化推進セミナーの開催
講師によるセミナー、各種事例集の作成、デジタル化メリットの提案等
- ・飲食店の売上向上に対する支援
販路開拓、予約精算システム等のデジタル化導入のための支援
- ・テレワーク導入に対する補助
必要な機材購入費、通信環境整備に対して補助
- ・工場・事務所の内部改修に対する補助
デジタル化に関わる改修に対して補助
- ・生産設備の能力向上等に対する補助
事務の効率化、コロナ対策製品開発等に必要なデジタル化に対して補助
- ・IT人材育成に対する補助
社内IT人材育成、外部専門家の活用等に対する補助

自然保護の推進 「エコロジカル・ネットワークの形成」

1 生物多様性保全事業(継続) (自然保護対策室) R3予算額 1千1百万円

- ・市内の動植物の生態系調査を実施
- ・「川口いきもの通信」を配布するなど、生物多様性の周知啓発を実施

2 グリーンセンター昆虫の森整備事業(継続) (グリーンセンター)

※グリーンセンター再整備事業(P16)の一部

子どもから大人まで昆虫などの自然とふれあえる森の整備を行う

3 赤山歴史自然公園維持管理事業(拡充) (公園課)

R3予算額 1億4千6百万円

令和4年度の全体オープンに向け管理面積が増加していく中で、動植物に配慮した樹木管理・除草等を行い、生物多様性に富んだ自然環境の保全・創出を図る

4 緑地保全・保全緑地等公有地化事業(拡充) (みどり課)

R3予算額 6千9百万円

- ・「保全緑地」、「保存樹木」等の指定を行い、所有者と協定を結び緑地保全の支援を行う
- ・保全緑地のうち、特に重要な箇所について、必要に応じ公有地化を図る

令和3年度予定地:安行赤堀用水沿い斜面林保全緑地の一部

※エコロジカル・ネットワークとは

野生生物が生息・生育する様々な空間(森林、農地、都市内緑地・水辺、河川等)がつながる生態系のネットワーク

文化の高揚

1 美術館建設等検討事業(継続) (文化推進室) R3予算額 8百万円

中核市にふさわしい文化芸術の振興を図るため、旧栄町公民館跡地を含む栄町3丁目11番地区の再開発事業による美術館建設を目指し、準備を行う

- ・美術館建設検討等に伴う基本調査の実施
- ・美術館建設を考える市民フォーラムの開催 など

2 寄贈作品展事業(新規) (文化推進室) R3予算額 5百万円

寄贈された美術作品の展覧会を開催

- ・アートギャラリー・アトリアにて開催
- ・年2回程度開催予定

3 歴史的建造物施設整備費(拡充) (文化財課) R3予算額 1億3千7百万円

国指定重要文化財「旧田中家住宅」の保存活用計画に基づき、耐震補強等を実施

- ・南側煉瓦塀の耐震補強工事等を実施
- ・洋館・和館・文庫蔵(旧仕込倉)の耐震補強案の策定 など

元気を生み出す「まちづくり」の推進

組織体制を強化(注1)し、まちの活性化を図るため、住みやすい魅力あふれるまちづくりを推進する

(注1) 都市整備部に再開発課を新設、都市計画部都市計画課にまちづくり政策係を新設

1 市街地再開発事業等への支援(継続)

(再開発課) R3予算額 8億1千1百万円

- ①川口栄町3丁目銀座地区第一種市街地再開発事業 【継続】 令和5年度完了予定
- ②川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業 【継続】 令和7年度完了予定

2 区画整理事業及び住宅市街地総合整備事業の促進(継続)

(再開発課、市街地整備室、区画整理課、各区画整理事務所)

R3予算額	<u>土地区画整理事業(一般・特別会計)</u>	総額 50億1千万円
	<u>住宅市街地総合整備事業(一般)</u>	総額 5億3千万円
	計	55億4千万円

※ 仮称東川口駅前行政センター設置事業(継続) (芝支所)

本市の北の玄関口である東川口駅前に、老朽化した戸塚支所に替わり、行政センターを設置し、賑わいの創出と市民の利便性の向上を図る <令和6年度 開所予定>

(整備手法に等価交換方式による民間活力を取り入れ、財政支出を抑制)

人々の元気 「人を育み誰もが生き活きと活躍できる さらなる元気なまちへ」

1 多文化共生推進事業(拡充) (協働推進課) R3予算額 2千7百万円

多文化交流・理解を促進し、多文化共生社会の推進を図る

【拡 充】

・翻訳機の導入

75言語対応のAIによる翻訳機を15台追加(計30台)

【継 続】

・外国人法律相談

弁護士による通訳を介した法律相談を実施

・外国人生活入門ガイドブック

地域のルール・マナー、様々な制度等を多言語で記載した小冊子を作成

・多文化ふれあいフェスタ

食文化をはじめとする外国人の文化・習慣・国民性にふれあう機会を創出し、相互理解を促進

・テレビ電話等多言語通訳

外国人への迅速な市民サービスを提供するため、携帯電話やタブレットを活用し、テレビ電話等で通訳を行う など

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できる
さらなる元気なまちへ」

2 保育所等の整備・運営(拡充)

(子ども総務課・保育運営課・保育幼稚園課) R3予算額 158億1千8百万円

民間保育所・認定こども園の整備により待機児童対策を推進

【保育所等の定員数】 令和2年度

186箇所 11,209人

令和3年度

192箇所 11,590人 (381人増)

【待機児童数の推移】 平成31年4月1日

76人

令和2年4月1日

38人 (38人減)

3 附属中学校の運営(新規) (教育総務課・庶務課・指導課) R3予算額 4千5百万円

令和3年4月に開校する川口市立高等学校附属中学校の管理運営を行う

【川口市立高等学校附属中学校概要】

開校日 令和3年4月1日

生徒数 1学年80人

受験者数:563人
倍率:7.0倍

産業の元気「戦略的な産業振興による さらなる元気なまちへ」

1 市産品フェア事業(継続) (産業振興課) R3予算額 8千万円

製造業、緑化産業を中心とした市内製品や市内で営業するあらゆる業種のサービスなどを市内外の企業や市民等に広く周知し、地域経済の活性化を推進

開催日・・・令和3年11月(予定) 会場・・・SKIPシティ(予定)

2 国際園芸博覧会出展事業(新規) (農政課) R3予算額 2千6百万円

10年に1度オランダで開催される国際園芸博覧会に国と協力して出展し、本市の地場産業である植木を中心とする花きのPRと販路の拡大を図る

【概要】

名称：2022年アルメーレ国際園芸博覧会(フロリアード2022)

開催期間：令和4年4月～10月

参加国数：60カ国(予定)

実施主体：(仮称)川口市フロリアード2022出展実行委員会

くらしの元気「生涯をとおして安全・安心に暮らせる さらなる元気なまちへ」

1 小児夜間等救急診療事業(継続) (保健総務課) R3予算額 1億6千2百万円

小児救急患者に対する夜間等の医療体制の充実を図る

【こども夜間救急診療所(一次救急)】

R2.4月~R3.1月受診者数:1,580人

設置場所:鳩ヶ谷庁舎別棟

診療時間:平日

午後7時30分~午後11時

土日、祝日及び年末年始

午後5時30分~午後10時

【3医療機関輪番制(二次救急含む)】

診療時間:平日、土日、祝日及び年末年始 午後6時~翌日午前8時

※3医療機関...市立医療センター、済生会川口総合病院、埼玉協同病院

※3医療機関での一次救急対応は、こども夜間救急診療所の診療時間外

2 災害に備えたインフラ整備

- ・ 江川第3調節池整備事業 1億1千万円(令和7年度完了予定)
- ・ 雨水流出抑制対策事業 2億2千万円(柳崎第2公園、北園第1公園に設置等)
- ・ 沼田公園整備事業 7千万円(防災公園として整備 令和4年度完了予定) など

1 中学校夜間学級関連事業(継続)

(庶務課・学務課・学校保健課・教育総務課) R3予算額 4千1百万円

中学校夜間学級(芝西中学校陽春分校)の運営に要する経費を計上

※新校舎の建設については、事業計画の変更に伴い改めて実施設計を行い、
令和6年度の使用開始を予定

2 オリンピック・パラリンピックに関連する事業(新規・継続)

(政策審議室・スポーツ課・指導課) R3予算額 7千9百万円

- ①オリンピック聖火リレーの企画運営
- ②事前キャンプ地として代表選手の受入(新型コロナウイルス感染症対策を含む)
- ③機運醸成のための市民が参加できるイベントの実施
- ④希望する市内小・中・高校の児童・生徒に対し観戦チケットの配布 など

地域の元気「各地域の歴史や地勢を活かす さらなる元気なまちへ」

1 神根運動場周辺整備基本構想策定事業(新規)

(政策審議室) R3予算額 3千1百万円

神根運動場周辺を整備するため基本構想の策定を行う

※現在、県が計画している国際基準の屋内50メートルプールの誘致を進めている

2 グリーンセンター再整備事業(継続)

(グリーンセンター) R3予算額 8億1千1百万円

老朽化した園内施設等の改修を行い、市民へのサービス及び安全性の向上を図る

【第1期公園整備事業概要】

工事箇所	ツツジ山、モデル庭園、北側斜面地等	22,000㎡
工事概要	アスレチック遊具等設置、昆虫の森整備、園路・給排水電気改修等	
供用開始	令和4年1月(一部供用開始予定)	
事業費	総額	13億1千7百万円
	令和元年度	3億6千9百万円
	令和2年度	4億5千1百万円
	令和3年度	4億9千7百万円

【第2期公園整備事業概要】

設計箇所	温室・ビジターセンター、大集会堂、南ゲート、第2～4駐車場等
設計範囲	72,000㎡
供用開始	令和7年4月(予定)

地域の元気「各地域の歴史や地勢を活かす さらなる元気なまちへ」

3 NHK跡地整備事業(継続) (SKIPシティ整備室) R3予算額 4千万円

SKIPシティにおけるNHKとの土地交換に向けた調整を行うとともに、交換後の市所有地の利活用について検討を行う

【今後の予定】

令和3年度: SKIPシティ利活用基本計画の策定

令和4年度: NHKとの土地交換の実施

令和8年度: NHK施設運用開始

4 東川口駅周辺浸水対策事業(継続) (下水道建設課) R3予算額 6億7千6百万円

東川口駅周辺におけるJR武蔵野線高架下の浸水対策として、既存水路の排水能力を超える雨水を貯留するための施設の整備を行う

【工事概要】

貯留管整備工: 令和元年度～3年度(内径: 4.65m、延長: 418.0m)

ポンプ設備工: 令和4年度

公園復旧工: 令和5年度(戸塚佐藤第二公園)

主要な公共施設の整備

主な大規模修繕・改修・改築事業

- ・ 小・中学校施設の維持補修・整備 23億4千万円
- ・ 青木会館改築事業 7億3千万円(令和4年度完了予定)
- ・ 仲町保育所(仮称横曽根保育所)改築事業 3億3千万円(令和3年度完了予定)
- ・ 鳩ヶ谷公民館改築事業 4億2千万円(令和4年度完了予定)
- ・ 西川口・横曽根公民館・横曽根図書館集約化事業 3千万円(令和7年度完了予定)
- ・ 戸塚西公民館の大規模改修 4億2千万円(令和4年度完了予定)
- ・ 東スポーツセンターの大規模改修 2億2千万円
- ・ 戸塚環境センター整備事業 3億2千万円(令和11年度完了予定)
- ・ 仮称東消防署建設事業 6億9千万円(令和6年度完了予定) など